

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	術後再建腸管例における胆道疾患に対する内視鏡治療成績の後方視的検討 (B22-160)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部 消化器内科学 講師 奥脇興介
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	術後再建腸管例における胆道疾患に対する内視鏡治療の成績（有効性、安全性）を患者背景（非高齢者 or 高齢者、術後再建方法の種類）やアプローチ法（小腸内視鏡 or 超音波内視鏡）といった視点から後方視的に検証し、現状における課題を抽出することにより、今後の最適な治療法を確立することを目的に本研究を実施致します。
調査データ 該当期間	内視鏡検査実施日から 2026 年 1 月 14 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2015 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの間に北里大学病院において胆道疾患に対する内視鏡治療を行った術後再建腸管の患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報 内視鏡検査日から 2026 年 1 月 14 日までの電子カルテに記載のある診療情報および検査データ、画像検査データ 具体的には、以下の通りです。</p> <p>患者背景：年齢、性別、術後再建法、抗凝固療法の有無、併存疾患、胆管炎の重症度、バイタルサイン、血液生化学検査結果（白血球、赤血球、ヘモグロビン値、血小板、CRP、アミラーゼ、リパーゼ、ビリルビン値、LDH、AST、ALT、ALP、<math>\gamma</math>-GTP、総胆汁酸、Na、K、Cl、Ca、BE）。</p> <p>治療内容：</p> <p>【小腸鏡使用例】 使用スコープ、目的部位への内視鏡到達の成否、到達までの所要時間、胆管挿管の成否、乳頭部もしくは吻合部への処置内容（切開術 or バルーン拡張術）、胆管径、胆管結石数と最大結石径、結石除去の成否、結石除去に用いたデバイス、胆管ドレナージの成否、ドレナージに用いたステントの種類。</p> <p>【超音波内視鏡使用例】 使用スコープ、目的部位への内視鏡到達の成否、到達までの所要時間、使用穿刺針とガイドワイヤーの種類、穿刺胆管部位、胆管径、胆管挿管の成否、瘻孔拡張の方法、胆管結石数と最大結石径、結石除去の成否、結石除去に用いたデバイス、胆管ドレナージの成否、ドレナージに用いたステントの種類、入院日数、偶発症、胆管ステントの開存期間、閉塞の原因。</p> <p>治療後の経過：入院日数、偶発症、結石再発の有無、胆管ステントの開存期間、閉塞の原因。</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から

個人情報取り扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究の遂行のための費用は北里大学医学部消化器内科学研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  <b>所属・職位</b>：消化器内科・講師  <b>担当者</b>：奥脇興介（オクワキコウスケ）  <b>電話</b>：042-778-8111</p>
備 考	